

10月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所:豊川流域治水出張所
実施日	令和5年10月10日	実施区間	新橋、正岡橋、前芝大橋付近

豊川放水路新橋下流左岸のところに、樋門があります。今までこの樋門がどのような役割をしているのかわかりませんでした。調べてみるととても大切な役割を果たしていることがわかりました。ここには清須第一樋管と書いてありました。堤防と一体となって高潮、津波から堤内地を守る施設とあり、用水の取水や内水の排除を目的としているとありました。豊川放水路には樋門や樋管があり、堤防だけではなく、樋門や樋管もそれぞれ洪水を守るなど大切な役割を果たしていることがわかりました。樋管も樋門も役割は同じですが、規模の大きな施設を樋門といい、小さいものを樋管ということも知りました。放水路新橋下流左岸にはこの清須第一樋管があり、正岡橋右岸下流には正岡排水第2樋管がありました。そして、前芝大橋下流右岸には青木船溜樋門がありました。それぞれ規模は違いますが、堤防と一体となって堤内地を守る大切な役割を果たしていることを学びました。豊川放水路には大小いろいろな施設が併設されており、放水路、堤防、河川敷などとともにこれら樋門も、樋管も地域住民の安心、安全を目指しているのですね。

ところで、最近になって気づいたことですが、豊川放水路が以前よりだいぶきれいになっていることです。川の水も堤防道路もきれいになっており、ゴミの放置も少なくなっています。

河川愛護の気持ちが通じているのか、うれしくなります。

地域住民の地元の河川を大切にしようという気持ちや、国や地方自治体の河川愛護の啓蒙、河川との共生の精神、河川愛護のチラシ、キャンペーンなど少しずつですが効果が出てきているように思います。以前は、堤防道路上にペットボトルや空き缶、その他レジ袋に入った食べ物のゴミなどが放置されていた状態も見られました。豊川放水路においては、最近はあまり目立ったゴミの散乱放置は見かけなくなりました。もちろんゴミが全くないということはないですが、かなり減っていることは実感しています。

私も釣りが好きで、孫と一緒に海や川の釣りを楽しんでいます。必ずゴミは自宅に持ち帰って処分するように心がけています。孫にも川のありがたさや大切さを教え、大人になってもずっと釣りが出来ることをありがたく思っています。大人から率先して実践し、川を汚さず、釣りの帰りはゴミは必ず持ち帰ることが肝要と思料します。

なお、説明写真などは次ページにありますので、よろしくお願ひします

上段は清須第一樋管、中段は正岡排水第2樋管、下段は前芝町の青木船溜樋門

最下段は前芝大橋下流右岸の豊川放水路の様子(きれいな状態でした)

10月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路: 左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所: 豊川流域治水出張所
実施日	令和 5 年 10 月 10 日	実施区間	新橋、正岡橋、前芝大橋付近



前芝大橋下流右岸
堤防道路、堤防法
面、河川敷などきれ
いな状態です。
ハゼ釣りを楽しんで
いる様子です。

10月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所:豊川流域治水出張所
実施日	令和5年10月13日	実施区間	新橋下流新幹線ガード下付近

豊川放水路の新橋から下流右岸横に川幅が狭くなっている善光寺川が干上がっていました。大雨になると川幅が狭いので、氾濫しそうになっていることもあります。今日はたまたま水が流れていなくて、川底の泥などが見えました。新幹線のガード下あたりの川底に鉄の車輪のような物が捨ててありました。以前から気になっており、放置されたままでした。豊川放水路の看板が手前に見える箇所の川底です。通行止めの看板のあるコンクリート橋のすぐ南の川底にも鉄の塊がありました。今年6月の大雨の時には、善光寺川が氾濫し、大きな被害が発生しました。大雨の影響で新幹線ガード下辺りまでこの車輪のような物や鉄の塊が流れてきたのか、誰かが捨てたのかはわかりませんが、放水路も善光寺川も両方とも大切な川です。放水路の直近すぐ横が善光寺川なのですから、互いに大きな影響をもたらしています。放水路も善光寺川も大切に保護し、きれいな川であることを切に望みます。車輪のような物や鉄の塊は撤去して、善光寺川が円滑に流れることが肝要です。

